

地域のわ通信

Kanagawa-ku

Chiiki ryoku

神奈川県内の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

Case 6

南神大寺団地自治会



本格カレーパーティー〜親子で国際交流〜

自治会加入促進プロジェクト「みなかんファースト!」

■ 神奈川区の自治会町内会の加入率は70.5%(平成29年4月)で、年々低下している。そんな中、少しでも自治会活動に興味を持ってもらおうと「みなかんファースト!」と名付け、6月から自治会加入促進の取組として活動を開始させているのが、南神大寺団地自治会だ。

■ 南神大寺団地は、1,430世帯が住む全15棟で構成される高層賃貸住宅。自治会加入率は4割と低く、特に若い世代が地域活動に興味を持ちづらいという今どきの事情があり、また最近では、外国人の住民も増えている。

■ 「みなかんファースト」は、「神奈川県地域づくり大学校*①」を受講した、当団地に住む4人(桐澤重富さん、菅野麻紀さん、前島昌子さん、森岡一美さん)が地域課題を解決するために地域でやってみたいことをまとめた「夢プラン」を、かながわ地域支援補助金*②を活用し、実現させた。

■ この取組は、複数のイベントで構成され、その中のひとつが今回紹介する「本格カレーパーティー〜親子で国際交流〜」だ。自治会加入の有無に関係なく誰でも参加できるようにし、若い世代が自治会活動に興味を持つきっかけになればと企画した。

■ 外国人居住者にも参加してもらえれば国際交流にもつながると、顔見知りだったインド、シリア、中国の方に参加協力を申し出たところ、快く引き受けてくれた。カレーの本場であるインドの方からスパイスを使った本格的なカレーづくりを教えてもらい、交流する企画となった。

■ 開催に向けて参加者を募集すると、予想を上回る申込みがあり、親子14組のほか、外国人居住者など総勢約70名が参加した。「今まで企画したイベントの中で一番人気となった。地道に活動していると、少しずつ賛同者が増えていく感じ





です。」と企画者のひとり、菅野さんは言う。
■カレー作りは、市販のカレールーは一切使わず、インドの家庭で使うスパイスを入れた本場のカレー。野菜を切り、炒め、CHAPATY(チャパティ)という小麦粉でできた薄いパンを作って焼く作業を、親子で体験した。参加したお母さんは「家では料理を子どもと一緒に作ると、散らかることが気になるので、こういう機会はとてもありがたい。」と声を弾ませていた。

■カレーを煮込む時間は、子どもたちにとってはお楽しみタイム。バルーンアートや身近なことをクイズにした〇×クイズは、子どもたちに大人気だった。

■「みなかんファースト！」の企画は、このイベントを皮切りにこれからも続き、シャボン玉を使った夕涼み会や紙相撲大会、世界の朝食会などが予定されている。団地内の豊かな自然を活かした鳥の巣箱作りと樹名板を作る体験講座の企画では、「ただ通るだけの団地内を、樹木や鳥を意識することで、親子のふれあいのきっかけや住民同士の交流に一役買えたら。」と企画者の桐澤さん。年々、関係が希薄になりつつある住民同士の関係づくりや、住んでいる地域の魅力の再発見をねらいとしている。

■南神大寺団地自治会の小林会長は「自治会に関わる人たちには感謝している。特に女性たちの頑張りが、団地に活気を生んでいる。とてもありがたい。」と、これからの取組に期待を寄せていた。

***①神奈川区地域づくり大学校**

「住んでいてよかった」と思える地域づくりのための学び合いの場。受講者は自治会町内会からの推薦と一般公募により、地域活動に関わっている方、または、これから関わりたい方。地域活動を解決する手法を区内外の事例を交え、講義・グループワーク・現地訪問から実践的に学び、地域で行いたい活動を「夢プラン」にまとめる全6回。今年度は4期目を迎える。

***② かながわ地域支援補助金**

神奈川区区内における地域の様々な主体が、自主的に行う地域の課題解決に向けた取組を支援する補助金。区民力発揮コースと地域スクラムコース、テーマ型コースの3種類がある。